

# 第116回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部／長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタント協会 後援:長崎県技術士会

日 時:平成30年6月15日(金)14:00～17:30

会 場:佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」 研修室2

(佐世保市三浦町2番3号 アルカス SASEBO 2階 ／ TEL: 0956-23-3828)

<http://www.city.sasebo.lg.jp/siminseikatu/jinken/spica.html>

参 加 費: 1,000円(資料代含む)

話題提供:14:00～17:00(①:14:00～15:30／②:15:30～17:00の予定)

## ①道路トンネル維持管理への取組の一事例 ～覆工の振動特性に着目した健全性診断の試み～ 谷口 徹也 様 (西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社)

概要: 一般に、トンネル定期点検による変状の把握は、近接目視、打音により実施される。しかし本点検手法は、基本的に交通規制内作業である。点検技術者は、事故リスクが高く限られた時間の中で、継続的な上向き姿勢の苦渋作業を行っている。また、およそ1万箇所の定期点検の実施は道半ばである。一方、点検技術者の不足による未熟な点検作業も懸念される。このような状況では、変状の見落としや記録漏れ、事故の発生が問題点となる。

トンネル覆工の健全度評価は、点検技術者が定性的に変状の対策区分を判定し評価している。しかしこの評価手法では、トンネル覆工の剛性は評価されないため、トンネル覆工の補強の要否を判断する場合、さらに詳細調査が必要である。本講演は、トンネル覆工のひび割れ分布を効率的かつ正確に自動抽出、図面化するシステムの開発内容および、定量化したひび割れ分布と覆工本体の常時微動計測から、覆工の剛性を評価する手法の研究成果を発表する。

## ②私が携わった河川・砂防事業について

壇 誠 様 (豊福設計株式会社)

概要: 1976年(昭和51年)4月に長崎県庁へ入庁し、河川・砂防事業に携わりました。本講演では、湯田地区(壱岐市)急傾斜地崩壊防止施設の変状対策としてアンカー工の施工、地すべりにより河道閉塞した谷川(佐世保市)の流出防止のための砂防施設建設や千綿川(東彼杵町)の砂防施設への魚道整備、日野川(佐世保市)河川改修工事においての軟弱地盤対策、中島川(長崎市)とまちづくりについて講演いたします。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00～17:30 ／ 懇親会:18:00～(会場周辺を予定)

※ご参加いただいた皆さんに、建設系CPD協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系CPD協議会継続教育参加証を発行いたします。

お申込みについて: 勉強会へご参加の方は、配布資料の準備のため下記宛先までご連絡いただけますと幸いです。

なお懇親会にご参加予定の方は、予約手配の都合のため、事前にその旨ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

お申し込み先: 長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本 FAX:095-819-2627 E-mail:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp